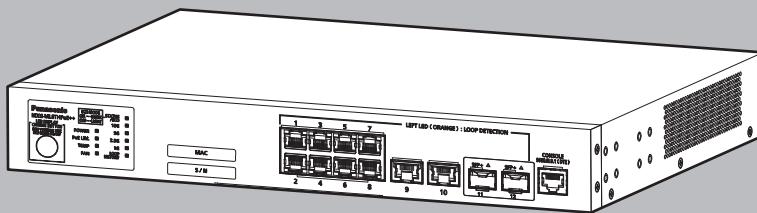


取扱説明書

MXG-ML8THPoE++

品番 ZLP290894

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2~5ページ) を必ずお読みください。
- いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- CLI リファレンス、Web リファレンス、保証書、最新ファームウェアおよび SDN アプリケーション (ZEQUO assist Plus) は下記 URL よりダウンロードいただけます。
<https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/download/index.html>



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

- 交流 100V 以外では使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない
感電の原因になるおそれがあります。
- この装置を分解・改造しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になるおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP+ 拡張ポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性の
ほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない
火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。
- 直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない
内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。
- 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない
落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。
- この装置を別売のゴム足（マグネット内蔵）PN71054 で取り付ける場合は、
床面より高さ 80cm を超える位置への設置・振動・衝撃の多い場所や不安
定な場所、装置の下を人が通るような場所（高所）に設置しない
落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。
- この装置を火に入れない
爆発・火災の原因になるおそれがあります。
- レーザ光を見ない
視力障害の原因になるおそれがあります。（クラス 1 レーザ製品）



禁止

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">● ツイストペアポートに 100BASE-TX/1000BASE-T /2.5GBASE-T/5GBASE-T/10GBASE-T 以外の機器を接続しない 故障の原因になるおそれがあります。● SFP+ 拡張ポート（ポート 11,12）に別売の SFP モジュール（PN54022/PN54024）、SFP+ モジュール（ZLP59022/ZLP59024）および SFP+ ダイレクトアタッチケーブル 1m（OPSFPPK-T01）以外を挿入しない 故障の原因になるおそれがあります。 対応する SFP 拡張モジュールの最新情報は、ホームページにてご確認ください。● コンソールポートに別売のコンソールケーブル PN72001 RJ45-Dsub9 ピンコンソールケーブル以外を接続しない 火災・感電・故障・誤動作の原因になるおそれがあります。● 床、床下、天井裏、盤など塵埃環境で使用しない 床や床下、天井裏、盤など、ほこりの多い場所では使用しないでください。 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。ラック内など、ほこりが発生しづらい環境にて運用いただくことを推奨します。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 付属の電源コード（交流 100V、7A 仕様）を使う 感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。● 故障時は電源プラグを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。● 必ずアース線を接続する 感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。 アース接続されたコンセントに付属の電源コードで接続してください。 コンセントがアースに接続されていない場合は、アース端子ねじにアース線（AWG18：緑／黄）を接続してください。● 電源コードを電源ポートにゆるみがないよう、確実に接続する 感電や誤動作の原因になるおそれがあります。● STATUS/ECO（ステータス /ECO モード）LED、FAN（ファンセンサ）LED が橙点滅となった場合は、故障のため電源プラグを抜く 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。● ツイストペアポート、SFP+ 拡張ポート、電源コード掛けロック、 コンソールポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う● この装置を壁面に取り付ける場合は、別売の PN71053 壁取付用金具にて、 本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け、設 置する 落下などにより、けが・故障の原因になるおそれがあります。● この装置をラックマウントする場合は、別売の 19 インチラックマウント 金具（330）（PN71055）に含まれる取付金具（19 インチラックマウン ト用）2 個とねじ（取付金具と本体接続用）8 本を使用して、装置の横に ある 4 つの 19 インチラックマウント用金具取り付けねじ穴に確実に固定 してから、設置する 確実に固定されない場合、落下などにより、けが・故障の原因になるおそれ があります。

⚠ 注意

●光ファイバーケーブルのコネクタ部がほこりなどで汚れていないか確認する
正常に光信号が伝送されず、誤動作・故障の原因になるおそれがあります。
汚れている場合は、必ず清掃してから、光ファイバーポートに接続してください。

●性能維持のために定期的にメンテナンスをする

この装置の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページにて公開しております。

●この装置を使用してシステムを設計する場合、冗長化構成を組むなど適切な処置を講じた上で使用する

使用中の故障・誤動作などの要因により、通信障害が発生する場合があります。

●この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する

極めて高い信頼性が必要とされる用途（鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム）に使用されることを意図した設計・製造はされておりません。

●経年劣化などの使用環境に起因した障害に注意する

稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。この装置は、設置後5年程度での交換を推奨いたします。

●この装置を使用できる環境の制限に注意する

①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバーケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。

②VCCI クラス A 情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●コンソールポートにシリアル通信端末以外を接続しない

故障の原因になるおそれがあります。

●IEEE802.3bt または IEEE802.3at 対応の受電機器をこの装置に接続する場合、Cat5e 以上のケーブルを使用する

上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。

●10GBASE-T (IEEE 802.3an) 対応機器をこの装置に接続する場合、Cat6 以上のケーブルを使用する

上記以外のケーブルを使用すると、故障の原因になるおそれがあります。

●IEEE802.3bt 対応機器をこの装置に接続する場合、AWG24・定格温度65°C以上のケーブルを推奨する

上記以外のケーブルを使用すると、発熱・発火・故障の原因になります。

●この装置のツイストペアポート側および電源ポート側への避雷器 (SPD) の設置を強く推奨する

落雷の影響による過電流・過電圧が故障の原因になるおそれがあります。



必ず守る

落雷の影響による故障の対策についての重要なお願い

- ネットワークカメラや無線アクセスポイントなど落雷による影響を受ける可能性がある機器（特に屋外設置機器）を、この装置のツイストペアポートに接続する場合、落雷による過電流・過電圧がツイストペアケーブルを通じてこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。このような機器を接続される場合、この装置のツイストペアポート側に避雷器（SPD）を設置されることを強く推奨いたします。
- 落雷の影響による過電流・過電圧が、電源ポートに接続される電源やアース線からこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。電源やアース線から、落雷による過電流・過電圧流入のおそれがある場合は、この装置の電源ポート側に避雷器（SPD）を設置されることを推奨いたします。
- 保証書に記載の製品保証規定にありますとおり、この装置の落雷の影響による故障の場合は、原則として保証対象外とさせていただき、有償にさせていただきます。

使用上のご注意

- 内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。
- 商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
- この装置を設置・移動する際は、電源コードをはずしてください。
- この装置を清掃する際は、電源コードをはずしてください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
- この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落ちたりしないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときは、装置本体を押さえて接続してください。
- RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラープラグの金属端子、SFP+ 拡張ポート内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。静電気により故障の原因となることがあります。
- コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラープラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。静電気により故障の原因となることがあります。
- 落下など強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- コンソールポートにコンソールケーブルを接続する際は、事前にこの装置以外の金属製什器などを触って静電気を除去してください。
- 周囲の温度が 0 ~ 50°C の場所でお使いください。
ファンの設定を Low2 または Min に設定してご使用いただく場合は、周囲の温度が 0 ~ 40°C の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
(仕様の環境条件下にて保管・使用してください)
 - 水などの液体がかかるおそれがある場所、湿気が多い場所
 - ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
 - 直射日光が当たる場所
 - 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因になるおそれがあり、保証いたしかねますのでご注意ください。
※動作環境温度外でご使用の場合、保護装置が働き内部電源が停止することがあります。
- この装置の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になるおそれがあります。
- この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を 20mm 以上設けてください。
- ラックマウントする場合は、上下の機器との間隔を 20mm 以上離してお使いください。
- IEEE802.3bt 対応機器と接続したケーブルを束ねて設置する場合、ケーブル本数は 24 本以下を推奨します。
ケーブル仕様により複数本束ねて配線すると、発火・故障・誤動作の原因になるおそれがあります。
※詳細の設置条件はご利用のケーブルメーカーにお問い合わせください。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害（逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします）もその責を一切負わないものとしますので、ご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

1 製品概要

MXG-ML8THPoE++ は、100/1000/2.5G/5GBASE-T 対応ポートを 8 ポートと 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T 対応ポートを 2 ポート、SFP+ 拡張ポートを 2 ポートを有する管理機能付きイーサネットスイッチングハブです。

ポート 1～8 は IEEE802.3bt/at/af に対応した PoE 給電機能をサポートしています。

1.1 特 徴

- ポート 1～8（ツイストペアポート）は、オートネゴシエーションに対応した 100/1000 /2.5G/5GBASE-T ポートです。設定による速度および通信モードの切り替えが可能です。ポート 9、10（ツイストペアポート）は、オートネゴシエーションに対応した 100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T ポートです。
- ポート 11、12 は SFP+ 拡張ポートです。10Gbps の通信が可能です。SFP または SFP+ ポートとしてご使用いただけます。
- ポート 1～8 は IEEE802.3bt/at/af 対応の給電が可能です。ポートあたり最大 95W の PoE 給電が可能で、機器全体では 240W まで給電が可能です。
- PoE オートリブート機能を搭載しており、Ping、LLDP、トラフィック量の 3 方式により監視、対象ポートの給電 OFF/ON が可能です。
- 静音ファンコントロール機能を搭載しており、動作環境温度、給電電力に合わせ、ファンの回転数を「高速」「低速」または「超低速」のいずれかに設定して使用できます。
- すべてのツイストペアポートがストレート／クロスケーブル自動判別機能を搭載しています。端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。（ポート通信条件を固定した場合／リンクアグリゲーションを設定した場合、本機能は動作しません。また工場出荷時に、ループ防止のために、ポート 1～8 は MDI-X 固定に設定してあります。）
- Telnet/SSH で遠隔からスイッチに接続して、設定変更・設定確認が可能です。
遠隔からポートごと（ポート 1～8）に PoE 給電の有効／無効の設定が可能です。
- 省電力モードの搭載により、ポートごとの接続状態を検知し、リンクアップしているときに電力消費を必要量に抑えることが可能です。（工場出荷時：無効）
- スパニングツリーブルプロトコルをサポートし冗長性のあるシステム構築が可能です。
- IEEE802.1p に対応した QoS 機能をサポートしています。
- IEEE802.1X 認証、MAC 認証、WEB 認証を 1 つのポートで同時に待ち受けができるトリプル認証に対応しており、接続端末の種類に合わせた認証ネットワークの構築が可能です。
- ステップ認証機能を搭載しており、端末の不正アクセスを防ぐことができます。
- 認証サプライカント機能を搭載しているため、上位スイッチの IEEE802.1X 認証機能と組み合わせることで、より強固なセキュリティ構成が可能です。
- ループ検知・遮断機能により、ループが発生した場合はポートを自動的に遮断し、ループ障害の発生を防ぐことが可能です。また、ポートの遮断および自動復旧の際、SNMP トラブルを送出でき、管理者に通知することができます。さらに本体 LED でのループ発生通知や設定画面上からの発生履歴の参照によってループが発生したポートの特定が可能です。
- PoE スケジューラ機能により、PoE の給電制御をスケジューリング可能です。
- ZEQUO assist Plus に対応しており、導入からメンテナンスまで簡単に実施することができます。
- PPSP（Power to Progress SDN Protocol）を搭載しており、PPS アプリケーション（別売）から、この装置の管理、運用が行えます。

1 製品概要

1.2 主な仕様

インターフェース	ツイストペアポート 1 ~ 8 RJ45 コネクタ (※ 1) 伝送方式 IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T IEEE802.3bz 2.5GBASE-T IEEE802.3bz 5GBASE-T ツイストペアポート 9,10 RJ45 コネクタ 伝送方式 IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3ab 1000BASE-T IEEE802.3bz 2.5GBASE-T IEEE802.3bz 5GBASE-T IEEE802.3an 10GBASE-T (※ 1) 省電力型イーサネット機能 IEEE802.3az (LPI) SFP+ 拡張ポート 11,12 伝送方式 IEEE802.3z 1000BASE-X IEEE802.3ae 10GBASE-SR/LR SFF-8472 (DMI : Diagnostic Monitoring Interface) オプション : 1000BASE-SX SFP Module(i) (PN54022) 1000BASE-LX SFP Module(i) (PN54024) 10GBASE-SR SFP+ Module(i) (ZLP59022) 10GBASE-LR SFP+ Module(i) (ZLP59024) SFP+ ダイレクトアタッチケーブル 1m (オーダー品番 : OPSFPPK-T01) コンソールポート RJ45 コネクタ RS-232C (ITU-TS V.24)
スイッ칭	ストアアンドフォワード方式 100BASE-TX 最大 148,800pps/ ポート 1000BASE-T 最大 1,488,000pps/ ポート 2.5GBASE-T 最大 3,720,000pps/ ポート 5GBASE-T 最大 7,440,000pps/ ポート 10GBASE-T 最大 14,880,000pps/ ポート MAC アドレステーブル 最大 16K エントリ / ユニット バッファ 2.0M バイト / ユニット ※ EAP フレーム、BPDU フレーム透過
リンクアグリゲーション	IEEE802.3ad 1 グループは 8 ポートまで構成可能、最大 6 グループまで構成可能
VLAN	IEEE802.1Q タグ VLAN (最大 256 グループ) ポートベース VLAN、インターネットマシンション機能
QoS	IEEE802.1p 対応、8 段階の Queue をサポート
管理方式	PPS、ZEQUO assist Plus、SNMP v1/v2c/v3、Telnet、SSH v2、Console、WEB

給電機能	ポート 1 ~ 8 で、IEEE802.3bt/at/af 対応の給電機能をサポート 装置全体で最大合計 240W 給電可能 各ポート最大給電電力 90W (工場出荷時) 各ポート最大給電電力 95W (※ 2) (※ 2) 供給制限設定にて 95W 設定時 90W 超は弊社 PoE++ 対応の受電機器のみ接続可能																									
給電方式	IEEE802.3at/af: Alternative A (1,2,3,6 ピン使用) IEEE802.3bt: Alternative A, B (1 ~ 8 ピン使用)																									
静音ファンコントロール	使用環境に応じて、ファン回転数を設定できます。 ファン回転数を設定すると、最大給電電力が自動制限されます。 ファン回転数 (Fan Speed) を Low1 または Min に設定すると、装置全体の最大給電電力 (Power Budget) が 124W に自動制限されますが、ファン騒音を低減させた状態でご使用いただけます。 <table border="1" data-bbox="330 536 1023 674"> <thead> <tr> <th>ファン回転数 (Fan Speed)</th><th>動作 環境温度</th><th>最大給電電力 (Power Budget)</th><th>騒音特性 LpA (※)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高速 (High)</td><td>0-50°C</td><td>240W</td><td>43 dB</td><td>工場出荷時</td></tr> <tr> <td>低速 (Low1)</td><td></td><td>124W</td><td>35 dB</td><td></td></tr> <tr> <td>Low2</td><td></td><td>240W</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>超低速 (Min)</td><td>0-40°C</td><td>124W</td><td>25 dB</td><td></td></tr> </tbody> </table> (※) JIS X 7779 による各モード時における周辺での騒音特性 測定値は平均値であり性能を保証するものではありません。	ファン回転数 (Fan Speed)	動作 環境温度	最大給電電力 (Power Budget)	騒音特性 LpA (※)	備考	高速 (High)	0-50°C	240W	43 dB	工場出荷時	低速 (Low1)		124W	35 dB		Low2		240W			超低速 (Min)	0-40°C	124W	25 dB	
ファン回転数 (Fan Speed)	動作 環境温度	最大給電電力 (Power Budget)	騒音特性 LpA (※)	備考																						
高速 (High)	0-50°C	240W	43 dB	工場出荷時																						
低速 (Low1)		124W	35 dB																							
Low2		240W																								
超低速 (Min)	0-40°C	124W	25 dB																							
その他	STP/RSTP/MSTP IEEE802.1X ポート /MAC ベース認証、MAC 認証、WEB 認証、トリプル認証、ステップ認証、IEEE 802.1X サブリカント、ポートモニタリング、リングプロトコル、IGMP スヌーピング、ループ検知・遮断機能、ストームコントロール、DSCP マッピング機能、ログイン RADIUS 機能、DHCP クライアント機能、PoE スケジューラ機能、PoE オートリブート機能、ポートグルーピング機能、マルチキャストアドレスグループ登録機能 UDLD、sFlow、Buffer Loss Counter 機能、IEEE1588v2 E2E TC																									
電源	AC100V、50/60Hz、3.8A																									
入力電圧範囲	AC90 ~ 132V																									
消費電力	定常時最大 302 W (非給電時 29.0 W)、最小 16.2 W																									
動作環境	温度 0 ~ 50°C 湿度 20 ~ 80%RH (結露なきこと) ※動作環境温度外でご使用の場合、保護装置が働き電源が停止することがあります。																									
保管環境	温度 -20 ~ 70°C 湿度 10 ~ 90%RH (結露なきこと)																									
ファン	有																									
外形寸法	44mm (高さ) × 330mm (幅) × 230mm (奥行き) (突起部は除く)																									
質量 { 重量 }	3,000g																									
適合規制	一般財団法人 VCCI 協会 クラス A 情報技術装置 VCCI Council Class A																									

*詳しい仕様については、商品仕様書をご覧ください。

1 製品概要

1.3 付属品

必ずお確かめください。内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。

- ゴム足 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 個
- 電源コード 1.8m ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 本

※ 1 付属の電源コードは AC100V 専用コードです

【別売オプション】

- PN72001 RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル
 - PN71055 19 インチラックマウント用金具 (330)
 - PN71053 壁取付用金具
 - PN71054 ゴム足 (マグネット内蔵)
 - 7101J-G AV ラックマウント用金具 -1 緑
 - 7101J-K AV ラックマウント用金具 -1 黒
 - PN54022 1000BASE-SX SFP Module(i)
 - PN54024 1000BASE-LX SFP Module(i)
 - ZLP59022 10GBASE-SR SFP+ Module(i)
 - ZLP59024 10GBASE-LR SFP+ Module(i)
 - OPSFPPK-T01 SFP+ ダイレクトアタッチケーブル (1m) ※ 2
- ※ 2 SFP+ ダイレクトアタッチケーブル 1 m を使用して接続可能な対応機器は、
ZEQUO6700RE、ZEQUO6600RE、ZEQUO4600RE、ZEQUO2600RE、
ZEQUO5410DL、ZEQUO4500DL、XG-M24TPoE+、XG-M16TPoE+、
XG-M8TPoE+、MGA-ML4TWPoE++、MXG-ML8THPoE++ になります。

1.4 基本動作

この装置には電源スイッチはありません。付属の電源コードをこの装置に装着し、電源コードのプラグをコンセントに差し込むだけでご使用いただけます。

この装置は、100V (50/60Hz) の AC 電源で動作します。

通電後、LED は全点灯します。

その後、POWER (電源) LED が緑色に点灯、STATUS/ECO (ステータス / ECO モード) LED が橙色に点灯し、ハードウェアの自己診断を実行します。

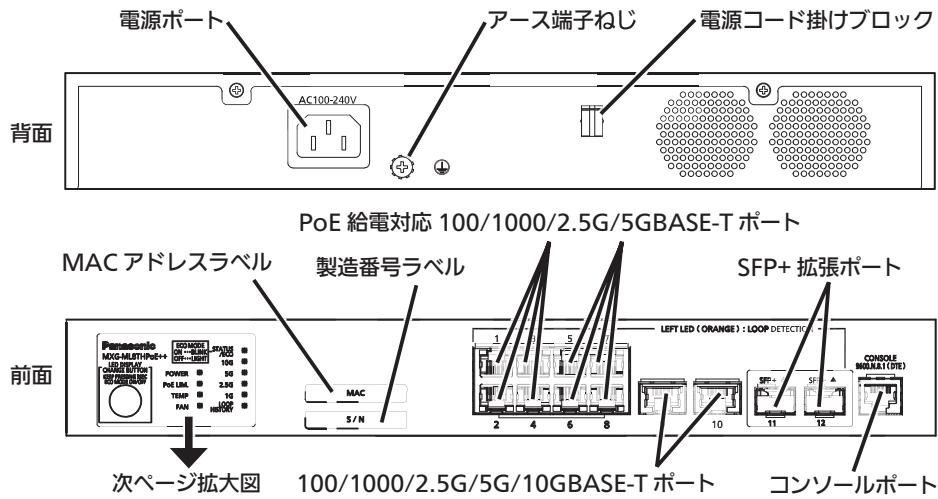
完了すると POWER (電源) LED、STATUS/ECO (ステータス / ECO モード) LED、TEMP (温度センサ) LED、FAN (ファンセンサ) LED が緑色に点灯し、スイッティングハブとして動作します。

この装置は動作中、ポートに接続されている端末と通信でき次第、ポート LED が点灯します。

端末装置の電源が投入されていないなど、端末が正常に動作していない場合、ポート LED は消灯します。

*設定・管理方法については、当社 HP より CLI リファレンス Web リファレンス
をご参照ください。

2 各部の名称と機能



●電源ポート

付属の電源コードを接続し、電源コンセント（AC100V）に接続します。

●電源コード掛けブロック

付属の電源コードを引っ掛けると、電源ポートから電源コードが抜けにくくなります。

●アース端子ねじ

コンセントがアース接続されていない場合は、アース端子ねじにアース線（AWG18: 緑 / 黄）を接続してください。

●PoE 給電対応 100/1000/2.5G/5GBASE-T ポート（ポート 1～8）

IEEE802.3bt/at/af 対応の PoE 給電が可能です。

100/1000/2.5G/5GBASE-T 端末、ハブ、リピータ、ブリッジ、スイッチングハブなどを接続可能です。ツイストペアケーブル（CAT5e 以上）のケーブル長は 100m 以内に収まるように設置してください。

●100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T ポート（ポート 9,10）

100/1000/2.5G/5G/10GBASE-T 端末、ハブ、リピータ、スイッチングハブなどを接続可能です。

10GBASE-T で接続の場合、ツイストペアケーブル（CAT6 以上）を使用してください。10GBASE-T 使用時のケーブル長は 18 ページを参照してください。

100/1000/2.5G/5GBASE-T で接続の場合、ツイストペアケーブル（CAT5e 以上）を使用してください。100/1000/2.5G/5GBASE-T 使用時のケーブル長は 100m 以内に収まるように設置してください。

●SFP+ 拡張ポート（ポート 11,12）

SFP モジュール、SFP+ モジュールまたは SFP+ ダイレクトアタッチケーブル 1m を挿入できます。

●コンソールポート

VT100 互換端末などと接続し、この装置の設定および管理をします。

通信方式	:	RS-232C	エミュレーションモード	:	VT100
------	---	---------	-------------	---	-------

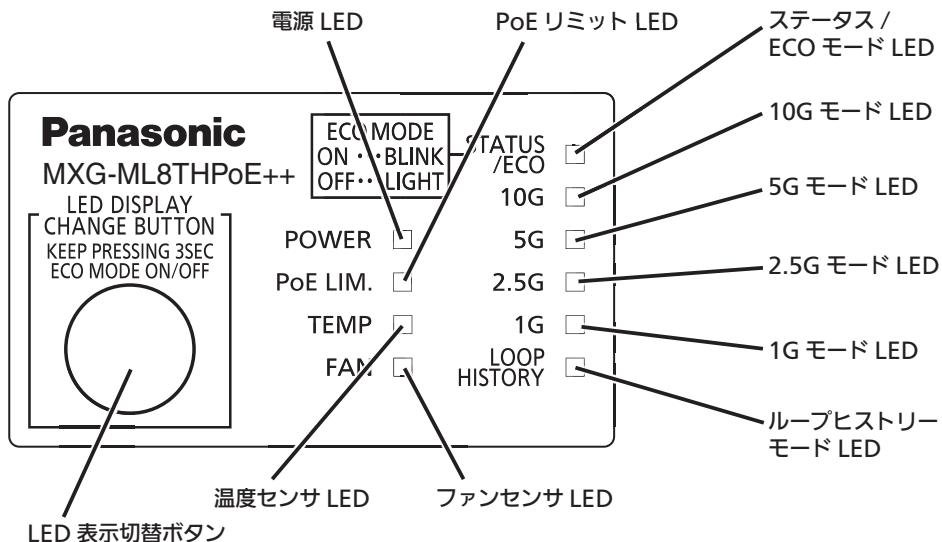
通信速度	:	9,600bps	データ長	:	8 ビット
------	---	----------	------	---	-------

ストップビット	:	1 ビット	パリティ制御	:	なし
---------	---	-------	--------	---	----

フロー制御	:	なし	通信コネクタ	:	RJ45
-------	---	----	--------	---	------

コンソールケーブルは、別売オプションの RJ45-DSub9 ピンコンソールケーブル（PN72001）をご使用ください。

2 各部の名称と機能



● POWER (電源) LED

- 緑点灯 : 電源 ON
- 消灯 : 電源 OFF

● PoE LIM. (PoE リミット) LED

- ・静音ファンコントロール高速 (High) の場合 ※工場出荷時
もしくは低速 (Low2) の場合
 - 消灯 : 0 ~ 225W の範囲で給電
 - 緑点灯 : 225W ~ 240W の範囲で給電
 - 橙点滅 : ポート単体の給電電力が上限を超える場合、
または、装置全体で給電電力が 240W を超える場合、
もしくは、接続された端末の電力クラスによって割り当てられた
電力容量により 240W を超える場合
- ・静音ファンコントロール低速 (Low1) もしくは超低速 (Min) の場合
 - 消灯 : 0 ~ 109W の範囲で給電
 - 緑点灯 : 109W ~ 124W の範囲で給電
 - 橙点滅 : ポート単体の給電電力が上限を超える場合、
または、装置全体で給電電力が 124W を超える場合、
もしくは、接続された端末の電力クラスによって割り当てられた
電力容量により 124W を超える場合

● TEMP (温度センサ) LED

- 緑点灯 : システム正常稼動
- 橙点滅 : 内部温度センサの設定閾値を超えた場合
内部温度センサ設定閾値 67°C (工場出荷時)

● FAN (ファンセンサ) LED

- 緑点灯 : システム正常稼動
橙点滅 : ファン障害

● STATUS/ECO (ステータス / ECO モード) LED

- 緑点灯 : ステータスマードで、システム正常稼動
緑点滅 : ECO モードで、システム正常稼動
(ECO モードは、全てのポート LED が消灯)
橙点灯 : システム起動中
橙点滅 : システム障害

● 10G (10G モード) LED

- 緑点灯 : 10G モードで動作

● 5G (5G モード) LED

- 緑点灯 : 5G モードで動作

● 2.5G (2.5G モード) LED

- 緑点灯 : 2.5G モードで動作

● 1G (1G モード) LED

- 緑点灯 : 1G モードで動作

● LOOP HISTORY (ループヒストリーモード) LED

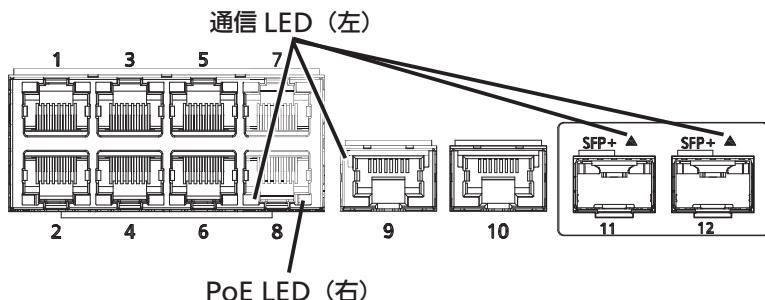
- 緑点灯 : ループヒストリーモードで動作
緑点滅 : ループが発生中、または
過去 3 日以内にループが発生
消灯 : ループ検知履歴無し

各ポートの表示は
表 1 (次ページ) を
参照してください

2 各部の名称と機能

表 1. 各モードとポートの LED 表示は以下のように対応します。

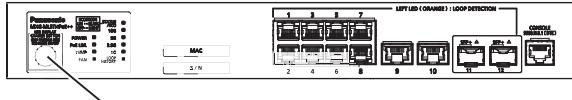
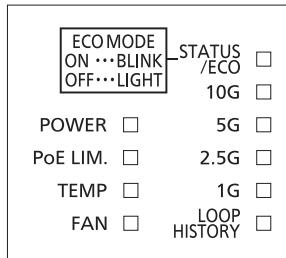
ポート LED	表示モード	LED 表示	ポートの状態
通信 LED (左)	STATUS/ECO	緑点灯	リンクが確立
		緑点滅	データ送受信中
		橙点灯	ループ検知・遮断機能／ストームコントロールまたは、BPDU ガードにより遮断中
		橙点滅	管理パケットのみ送受信中
		消灯	端末未接続、または ECO モードに設定中
	10G	緑点灯	10Gbps でリンクが確立
		消灯	5Gbps、2.5Gbps、1000Mbps または 100Mbps でリンクが確立もしくは端末未接続
	5G	緑点灯	5Gbps でリンクが確立
		消灯	10Gbps、2.5Gbps、1000Mbps または 100Mbps でリンクが確立もしくは端末未接続
	2.5G	緑点灯	2.5Gbps でリンクが確立
		消灯	10Gbps、5Gbps、1000Mbps または 100Mbps でリンクが確立もしくは端末未接続
	1G	緑点灯	1000Mbps でリンクが確立
		消灯	10Gbps、5Gbps、2.5Gbps または 100Mbps でリンクが確立もしくは端末未接続
	LOOP HISTORY	緑点灯	ループ解消後 3 日以内
		消灯	ループ検知履歴無し
PoE LED (右)		緑点灯	PoE 給電中
		橙点滅	ポート単体のオーバーロードまたは装置全体のオーバーロードが発生し、給電できていないポートを表示
		消灯	給電していない、または PoE 受電機器未接続もしくは ECO モードに設定中



2.1 LED 表示切替

● LED 表示切替ボタンによる表示方法

前面部表示と LED



前面部にある LED 表示切替ボタンを使用して、接続している端末との接続確認の表示（ステータスマード）、10Gb/s の伝送速度の表示（10G モード）、5Gb/s の伝送速度の表示（5G モード）、2.5Gb/s の伝送速度の表示（2.5G モード）、1000Mbps の伝送速度の表示（1G モード）、ループ発生した履歴があるポートの表示（ループヒストリーモード）、全てのポート LED を消灯（ECO モード）させることができます。

● 2 種類のベースモードと各モードについて

起動時のモードをベースモードといいます。

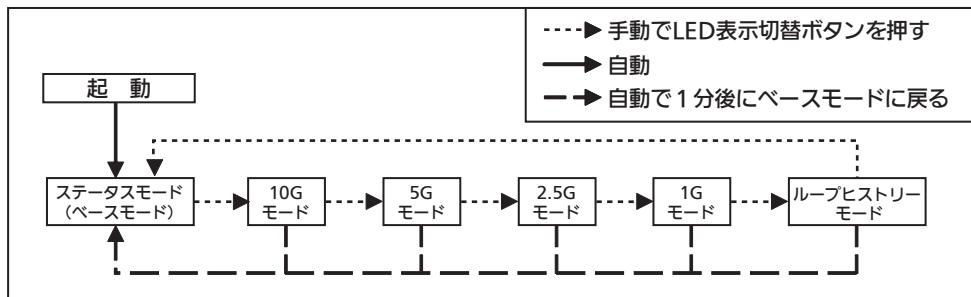
ベースモードはステータスマード（工場出荷時）と ECO モードの 2 種類があります。ベースモードの切替は LED 表示切替ボタンを長押し（3 秒間以上）することにより変更できます。

切替が正常に行われると、STATUS/ECO LED、10G LED、5G LED、2.5G LED、1G LED の計 5 つの LED が一斉点灯し、ボタンを離すとベースモードが移行します。また 10G LED、5G LED、2.5G LED、1G LED、ループヒストリーモードのいずれかに変更し、LED 表示切替ボタンを 1 分間使用しなかった場合には、自動的にベースモード（ステータスマードあるいは ECO モード）へ戻ります。ベースモードは、電源 OFF になっても保持されます。

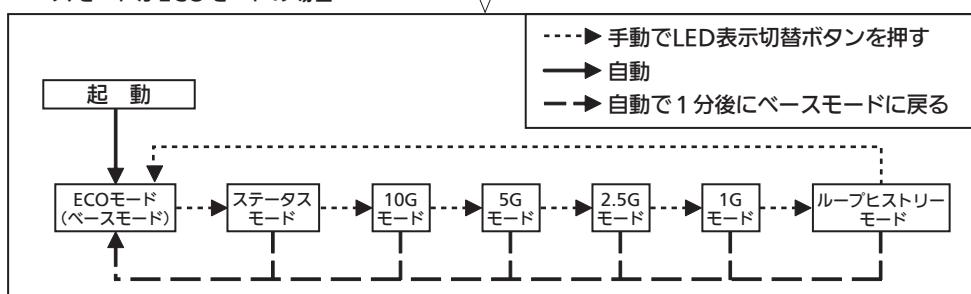
2 各部の名称と機能

2種類のベースモードと各モードのLEDは以下のように切り替えできます。

ベースモードがステータスマード（工場出荷時）の場合



ベースモードがECOモードの場合



※ベースモードは電源がOFFになっても保持されます。

各モードのLEDとポート1～12のLEDは表1のように対応します（14ページ参照）。

●ループ検知・遮断機能、ループヒストリー機能について

ループが発生したポートLED（左）を橙点灯でお知らせします。

ループ遮断モードには以下の2種類のモードがあります。

- ・ブロックモード（工場出荷時）

ループ検知時は、自動的にポートのステータスをブロッキングにし、ループ検知パケットを含む特定のパケットのみ送受信を行います。

- ・シャットダウンモード

ループ検知時は、自動的にポートをリンクダウンし、すべてのパケットの送受信を行いません。

※設定した復旧時間の30秒前より自動的にループ検知パケットのみ送受信を行います。また、ループが発生中、またはループ解消後3日以内のポートがある場合には、LOOP HISTORY LEDが点滅し、お知らせします。

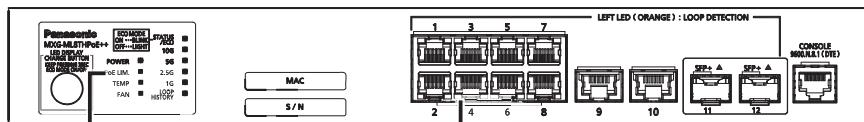
ループ検知・遮断機能の設定（OFF/ON）は、コンソールケーブルを使用した設定切替（詳細は、当社HPよりCLIリファレンス、Webリファレンスを参照）が可能です（デフォルト設定はON）。

ループヒストリーのLED表示を消去したい場合は、装置の電源をOFF/ONしてください。なお、装置に保存されたループヒストリーのログは64件まで保持されます。

2.2 PoE 給電機能

● PoE 給電機能の動作概要

ポート 1～8 は IEEE802.3bt/at/af 対応の PoE 給電が可能です。ポートあたり最大 95W の給電が可能で、装置全体で最大 240W まで給電が可能です。



ポート LED (左) 1～8 (LED 表示を給電モードに設定した場合)

緑点灯：正常に給電

橙点滅：ポート単体のオーバーロード（要求給電電力が 90W 超※1）または、装置全体のオーバーロード（要求給電電力を超えた場合）

消灯：給電していない、または PoE 受電機器未接続

PoE リミット LED (PoE LIM.)

- 静音ファンコントロール高速 (High) の場合 ※ 工場出荷時
もしくは低速 (Low2) の場合

消灯：0～225W の範囲で給電

緑点灯：225～240W の範囲で給電

橙点滅：ポート単体の給電電力が上限を超える場合、
または、装置全体で給電電力が 240W を超える場合、
もしくは、接続された端末の電力クラスによって割り当てられた
電力容量により 240W を超える場合

- 静音ファンコントロール低速 (Low1) もしくは超低速 (Min) の場合

消灯：0～109W の範囲で給電

緑点灯：109～124W の範囲で給電

橙点滅：ポート単体の給電電力が上限を超える場合、
または、装置全体で給電電力が 124W を超える場合、
もしくは、接続された端末の電力クラスによって割り当てられた
電力容量により 124W を超える場合

※ 1 供給制限設定にて変更した場合、設定値にて動作。

● PoE リミット LED が橙点滅（装置全体のオーバーロード）しているときの給電動作

装置全体の要求給電電力を超えてオーバーロードになった場合、優先順位の低いポートの給電が停止し、給電を停止したポートのポート LED (右) が橙点滅します。給電の優先順位設定はコンソール等から設定・変更することができます。

* 詳しい設定・管理方法については、当社 HP より CLI リファレンス、Web リファレンスをご参照ください。

● ポート単体でオーバーロードしているときの給電動作

ポート単体で 90W を超える給電を要求されたときはオーバーロードとなり、ポート LED (右) が橙点滅し、給電を停止します。

橙点滅しているポートのケーブルを抜いて、接続した PoE 受電機器の仕様をご確認ください。

- ご注意：1) PoE 受電機器によっては、通常使用時と最大消費電力時で消費電力が大幅に異なる場合がありますので、最大給電電力を超えないよう構成してください。
- 2) 給電の優先制御を設定していない、もしくは優先順位が同列の場合には
ポート番号の小さいポートに優先的に給電されますのでご注意ください。
(装置全体の要求給電電力を超える場合、ポート番号が大きいポートの給電を遮断します。)

3 設置・設定

3.1 10GBASE-T 利用について

10GBASE-T は、IEEE 802.3an-2006 規格で定められた、ツイストペアケーブルによって、10Gbps、最大 100m まで通信可能なイーサネット規格です。

(1) サポートケーブルタイプ

ケーブルタイプ	伝送距離
Cat.5e 以下	使用不可
Cat.6	最大 37m (※ 37m ~ 55m エイリアンクロストークに依存)
Cat.6A	最大 100m

エイリアンクロストークノイズ、外来ノイズに対しノイズ影響の低減が図れるため、STP ケーブルの使用を推奨します。

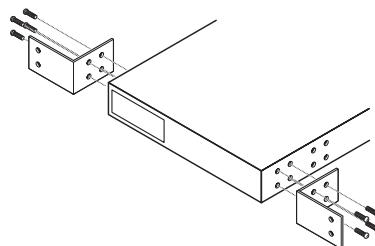
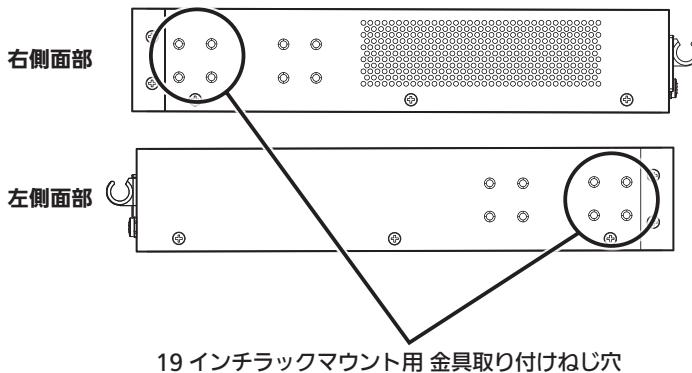
(2) 敷設環境

ケーブルへの外来ノイズにより、通信に影響を与える可能性があります。

ケーブル敷設責任者は、適切なケーブルの選定、環境ノイズの改善を求められる場合があります。

3.2 ラックへの設置

別売の取付金具 PN71055 に含まれる 19 インチラックマウント用金具 2 個とねじ（ラック取付金具と本体接続用）8 本を使用し、この装置の横にある 4 つの穴に取付金具を接続してください。その後、取付金具 PN71055 に付属するねじ（19 インチラックマウント用）4 本もしくは、ラックに用意されているねじでしっかりと、この装置をラックに設置してください。



3 設置・設定

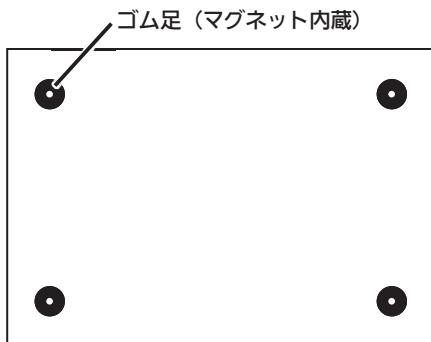
3.3 スチール製品への設置

別売のゴム足（マグネット内蔵）PN71054を4個取り出し、装置底面部分を表にしてください。

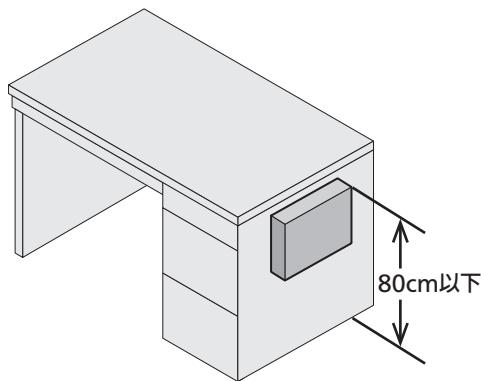
PN71054に含まれるねじ4本（ゴム足取付用）にて、しっかりと固定して下さい。



- 取り付ける際には、床面より高さ80cmを超える位置への設置、振動・衝撃の多い場所や不安定な場所、この装置の下を人が通るような場所に設置しない
落下して、けが・故障の原因になることがあります。

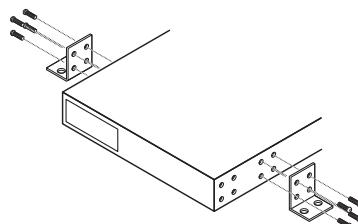
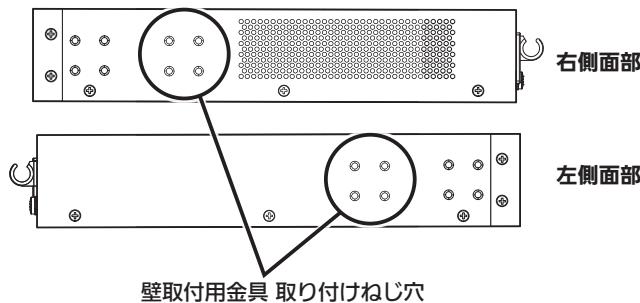


MXG-ML8THPoE++ 底面



3.4 壁面への設置

別売の取付金具 PN71053 に含まれる壁取付用金具 2 個、ねじ（壁取付用金具と本体接続用）8 本を使用して、この装置の横にある 4 つの穴に取付金具を接続してください。その後、お客様でご用意されているねじ 4 本でしっかりと、この装置を壁面にねじ止めしてください。



3 設置・設定

3.5 IPアドレスの設定（簡易）

(1) 別売オプションのRJ45-DSub9ピンコンソールケーブル（PN72001）で、この装置とPCを接続し、ターミナルエミュレータ（ZEQUO assist Plusなど）を起動します。

(2) Enterキーを1回入力すると、Login画面が表示されますので、UserNameとPasswordを入力してください。（デフォルトは両方ともmanagerです。）
（画面1）

(3) コマンド入力画面が表示されます。（画面2）

(4) IP address, SubnetMaskを以下のコマンドで入力します。（画面3）

```
>enable  
#configure  
(config)#interface vlan 1  
(config-if)#ip address 192.168.1.254 255.255.255.0
```

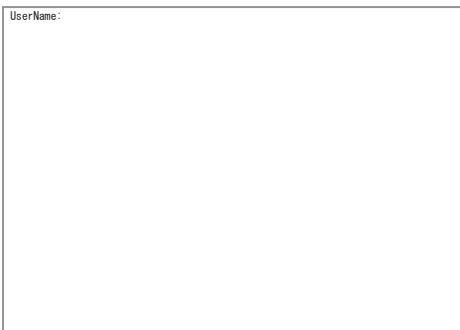
(5) 設定を保存する場合は、以下のコマンドを入力します。

```
(config-if)#exit  
(config)#exit  
#copy running-config startup-config
```

(6) 設定上書きの確認メッセージが表示されます。“Y”を入力すると設定の保存が実行されます。（画面4）

正常に設定が保存されたことを確認してください。

(7) 設定後、ネットワークに接続している端末などから、入力したIPアドレスにPING試験などを行い、正しく設定が反映されているかどうかご確認ください。



画面 1

```
UserName:manager  
Password:*****  
MXG-ML8THPoE++>
```

画面 2

```
User Name:manager  
Password:*****  
  
MXG-ML8THPoE++>enable  
MXG-ML8THPoE++>configure  
MXG-ML8THPoE++(config)>interface vlan 1  
MXG-ML8THPoE++(config-if)#ip address 192.168.1.254 255.255.255.0  
MXG-ML8THPoE++(config-if)#
```

画面 3

```
User Name:manager  
Password:*****  
  
MXG-ML8THPoE++>enable  
MXG-ML8THPoE++>configure  
MXG-ML8THPoE++(config)>interface vlan 1  
MXG-ML8THPoE++(config-if)#ip address 192.168.1.254 255.255.255.0  
MXG-ML8THPoE++(config-if)#exit  
MXG-ML8THPoE++(config)#exit  
MXG-ML8THPoE++#copy running-config startup-config  
  
Destination filename startup-config? [y/n]:
```

画面 4

*詳しい設定・管理方法については、当社 HP より CLI リファレンス、Web リファレンスをご参照ください。

■ 故障かな？と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆ LED

POWER（電源）LED が点灯しない場合

- 電源コードが外れていませんか？電源コードが電源ポートにゆるみなどがないよう、確実に接続されているか確認してください。
- 動作環境温度を 0 ~ 50°C の場所で使用していますか？
動作環境温度の範囲内でお使いください。
※動作環境温度の範囲外でご使用の場合、保護装置が働き電源が停止することがあります。
工場出荷時の動作環境温度範囲は 0 ~ 50°C です。

ステータスマードでポート LED が点灯しない場合

- ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？
- ケーブル類は適切なものを使用していますか？
- 該当するポートに接続している機器は 100BASE-TX、1000BASE-T、2.5GBASE-T、5GBASE-T、10GBASE-T ですか？
- LED 表示切替ボタンで正しいポート LED 表示モードを選択していますか？

ポート LED（左）が橙点灯した場合

- ループが発生しています。ループを解除することにより橙点灯が消えます。

LOOP HISTORY（ループヒストリーモード）LED が緑点滅した場合

- ループが発生中、またはループ解消後 3 日以内のポートがあることを表します。

◆ 通信が遅い場合

- 装置の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？
通信速度が遅い場合は、LED 表示切替ボタンで現在、ネゴシエーションしている通信速度を確認してください。
接続相手機器を強制全二重に設定しないでください。
- この装置を接続しているネットワークの使用率が高すぎませんか？
ネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆通信ができない場合

●リンクアップしていますか？

省電力モードや EEE (IEEE802.3az、省電力型イーサネット機能) が有効な場合、接続機器によっては、リンクしない場合があります。

以下の通り、設定を変更してください。

1. 省電力モードの設定を「Half」または「Disabled」に変更

2. EEE (IEEE802.3az) の設定を「Disabled」に変更

●10GBASE-T ポートがリンクアップしていますか？

適切に通信ケーブルが敷設されていない可能性があります。

“3.1 10GBASE-T 利用について” を参照し、環境の改善を図ってください。

●ポート LED (左) が橙点灯していませんか？

ポート LED (左) が橙点灯している場合、そのポートはループ検知・遮断機能によりポートを遮断しています。ポート配下のループ接続を解消後、ループ検知・遮断の自動復旧までのリカバリ時間以上の間待機するか、設定画面からポート遮断を解除してください。

◆ PoE 給電ができない場合

PoE 受電機器に給電しない場合

●STP ケーブルを使用していると、設置環境によっては PoE 給電できない場合があります。その場合は、UTP ケーブルをご使用ください。

●Cat5e 以上のストレートケーブル（8 極 8 芯）を使用していますか？

●PoE 給電機能をサポートするポート 1 ~ 8 に接続していますか？

●ポート単体もしくは装置全体でオーバーロードしていませんか？

●該当するポートに接続している PoE 受電機器は IEEE802.3bt 規格、

IEEE802.3at 規格、 IEEE802.3af 規格のいずれかに対応していますか？

●供給電力の上限を 15600 ~ 95000mW の範囲で手動 (Manual) 設定していますか？

（PoE 規格に準拠していない受電機器へ給電する場合）

ポート LED (右) が橙点灯している場合

●装置全体で PoE 受電機器が要求する給電電力が 240W を超えていませんか？

急に給電が止まった場合

●通常使用時と待機時で消費電力が異なる PoE 受電機器を使用されている可能性があります。PoE LIM. (PoE リミット) LED をご確認ください。

●ポート単体がオーバーロードしていないこと（ポート LED (右) が橙点灯していないこと）、もしくは装置全体の給電電力を超えていない（PoE LIM. (PoE リミット) LED が橙点滅していないこと）をご確認ください。

■ 保証とアフターサービス (よくお読みください)

1. 保証書について

保証書は弊社ホームページからダウンロードしていただき、必ず保証書の『お買い上げ日、販売店（会社）名』などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より1年間です。

2. 故障時の対応について

『故障かな?と思ったら』に従って調べていただき、なお異常がある場合は、お買い上げ日と下記の内容をお買上げの販売店へご連絡ください。

- ◆品名 MXG-ML8THPoE++ ◆品番 ZLP290894
- ◆製造番号（本体背面、および底面に貼付されている11桁の番号）
- ◆ファームウェアバージョン（個装箱に貼付されているラベル上のVer.以下の番号）
- ◆異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。

●保証期間中は、

保証書の規定に従い製品交換をさせていただきます。

お買上げの販売店まで製品に保証書を添えてお申し出ください。

●保証期間が過ぎているときは、

診断結果に応じて、ご要望により有償で製品交換させていただきます。

製造終了等の理由により、製品交換をお引き受けできないことがあります。

お買上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・製品に関するお問い合わせ

お買上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックEWネットワークス株式会社

TEL 03-6402-5301

FAX 03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。

IP電話(050番号)からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

 **0120-312-712** 受付 9:30 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日、および弊社休日を除く)

弊社ホームページにあるご質問(FAQ)および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。
ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問い合わせください。

URL:<https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/index.html>

なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。

URL:<https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/resume/guideline/index.html>